

申込不要。どなたでも無料でご参加いただけます。

2019 年度高翔会講演会・第 15 回名大ホームカミングデイ 一般公開企画

## 圧力が見える塗料（感圧塗料）を使った 計測技術の開発と航空宇宙機開発への応用



講師：中北和之氏

宇宙航空研究開発機構 航空技術部門  
空力技術研究ユニット 研究領域主幹（1992 年卒）

日時：令和元年 10 月 19 日（土）14：00～15：10

（講演 1 時間，質疑応答 10 分）

場所：名古屋大学工学部 2 号館 241 号室

航空機やロケットの開発では、縮小模型を風洞に入れて実際に風を当て、実物ではどのような飛行特性になるかを予測する試験が行われます。そこでは、揚力や抵抗と並んで、圧力分布の計測が重要な計測対象です。通常の圧力計測では圧力センサを使いますが、1990 年頃から圧力に反応して発光の強度が変化する感圧塗料をカメラで見ることによる圧力計測が開発されています。この技術は米国、欧州、日本などで研究が進んでおり、最近では航空機の開発のための風洞試験にも使われるようになってきています。

講演では圧力が見える感圧塗料を使った圧力計測はどのようなものかを説明し、最新技術である超高速圧力変動の圧力計測や動く物体の圧力計測などの最新技術や、航空機開発への応用例についても紹介します。

問い合わせ先：高翔会事務局 笠原 052-789-4404, [kasahara@nuae.nagoya-u.ac.jp](mailto:kasahara@nuae.nagoya-u.ac.jp)